



大浜中だより

—保護者と地域の皆様への広報誌—

平成 30 年度
6 月号
掛川市立大浜中学校

—第2ステージ「学習に打ち込み、部活動に燃えよう」—

第2ステージの目標は「学習に打ち込み、部活動に燃えよう」です。授業においては、コの字型隊形や小集団活動を通して「対話 協働 学びあい」を充実させるとともに、定期テストに向け、個々に目標を設定し、達成感が得られるような日々をおくってほしいと思います。

また、中体連夏季大会に向け、「やりきった」と思えるような集中した取組を期待します。特に一発勝負の夏の大会では、技術だけでなく、精神的な強さも求められます。

本校では、6月15日（金）14:10 から、メンタルトレーナーの大儀見浩介さんを招聘し、「強い集団をつくるチームビルディング（仮）」と題して、中体連に向けて、個人が、チームが、メンタルを強くし、高める講演会を実施します。

私が掛川東中の教頭時代にも大儀見さんの講演会を行いました。「心を鍛えることが最も大事。」大浜中生の夏に期待をしています。

※ 当日（6月15日）は、地域の方、保護者も参観可能です。申込不要、座布団持参で14:00までに本校体育館にお越しください。

おおざみ こうすけ

大儀見 浩介 氏

○講師紹介

スポーツ心理学に基づく「メンタルトレーニング」理論をベースとし、

目標設定、集中力

アップ、コミュニケーション、チームビルディング等をテーマに年間約250本の講演活動を行っている。

○プロフィール

静岡県清水市生まれ。東海大学第一中学校サッカー部時代に、全国優勝を経験。東海大学進学後、応用スポーツ心理学（メンタルトレーニング）を学び、現在はスポーツだけでなく、教育、受験対策、ビジネス、社員研修など、様々な分野でメンタルトレーニングを指導している。

※ 11月16日は、「受験に立ち向かうメントレ」を実施予定です。



—いじめのない学校づくり（第2ステージ集会・校長講話）—

第2ステージ集会では、全国中学生人権作文入賞作文の「読み聞かせ」を行いました。

「人の心の痛みは、他人と比べることができない絶対的なものです。その人がつらいと感じるなら、心のバケツがいっぱいになってしまっていることを分かってあげてください。

人によってそのバケツの大きさは違うし、バケツは急に大きくなりません。大きなバケツになるには、その人がたくさんの経年を重ねないといけません。

心のバケツがいっぱいになってしまっている友達の気持ちを察してください。そして、温かな声を掛けてあげてください。

※ 大浜中学校は、「いじめ防止基本方針」を改訂し、ホームページに公開しています。また、年2回生徒アンケートを実施するとともに、教育相談等、相談しやすい環境整備に努めています。生徒・保護者ともに、希望すればスクールカウンセラーの面談も可能ですので是非御利用ください。



一団結は力だ！ 仲間と一つになった潮風祭！一



赤団



青団



黄団



緑団

5月31日、本校の2大行事の1つである「潮風祭」が開催されました。当初、天候が心配されましたが、曇り空を吹き飛ばす勢いの生徒たちの熱意と、迫力ある競技で無事に全種目を終えることができました。スローガンである「団結は力だ」の言葉どおり、どの団もどのクラスも団結の力を見せてくれました。クラスの仲間のため、同じ団の先輩・後輩のために全力を発揮する姿は見ていて大変清々しく感じました。保護者の皆様、来賓の皆様、応援ありがとうございました。

	1年生	2年生	3年生
1位	緑団(1-2)	黄団(2-2)	赤団(3-3)
2位	赤団(1-1)	緑団(2-1)	青団(3-1)
3位	青団(1-3)	青団(2-4)	黄団(3-4)
4位		赤団(2-3)	緑団(3-2)

綱引き 優勝：青団
選抜リレー 優勝：赤団
長縄 優勝：3-3

一静岡県学校防災推進協力校の取組スタート！一

学校防災推進協力校に指定される掛川市立大浜中は24日、県危機管理課職員鈴木圭介さんを招いた防災講話を実施した。全校生徒ら約320人が出席し、「自助・共助」の大切さに理解を深めた。

自助・共助 大切さ理解 大浜中で防災講話 津波の恐ろしさも学ぶ



県職員から自助・共助の大切さを学ぶ生徒ら
掛川市立大浜中

助」の大切さを呼び掛け、東日本大震災時、中学生が避難所で住民の誘導や食事の配布などを率先した事例を紹介し「頼る存在から頼られる人になってほしい」と「共助」の重要性を訴えた。このほか、東日本大震災発生時の映像や写真などで津波の恐ろしさを紹介したり、同中周辺の津波浸水想定などを解説したりした。

5月24日(木)、県西部地域局危機管理課の鈴木圭介さんを招聘し、東日本大震災など防災に関する映像を見たり、自助・共助に関する話を聞いたりしました。

自分の命は自分で守る。中学生として何ができるか、自ら率先して考える。今年1年間のスタート、一人一人の意欲付けとなる講話でした。

(5月25日付静岡新聞)

今後の主な予定

6月7日(木)	薬学講座
6月15日(金)	夢講演会メンタルトレーニング
6月18日(月)	2年生職業講話
6月21・22日(木・金)	期末テスト
6月22日(金)	部活動激励会
6月23日(土)	小笠中学校総合体育大会(水泳)
6月26日(火)	参観懇談会・進路説明会
7月1日(日)～16日(月)	小笠中学校総合体育大会

自分の課題はどこだ！

夏休み前の「三者面談」で4月に実施した「標準学力検査」の個人票を返却します。自分の得意分野、苦手分野を把握し、夏休み中に課題を克服しましょう。

